

SPECIAL PRESENT
話題の商品が
当たる!
詳しくは裏面へ



Merry Music!

カワイ ウィンターフェア

Winter Fair

ピアノを、もっと楽しくもっと身近に。



カワイコンサートピアノとの経験

ピアニストとしてのキャリアの中で、特に国際コンクールの舞台では様々なピアノを試す機会があります。6月に行われた仙台国際音楽コンクールでも、6台の中からピアノを選択することができました。ここでカワイを選んだとき、私はこのピアノが最高のパートナーになるであろうと感じました。この個性的なピアノは、何も危惧することなく完全にコントロールでき、期待に応じてくれるのです。そして、着実にファイナルまで進み、演奏するたびに自分の選択が正しかったことを実感できました。

私は、このピアノのリッチな音質、音色、強弱が作り上げる絶妙な調音に完全に魅了されました。活き活きとした旋律は素晴らしい、非常に深いベース音とともに、力強さと透明感に溢れ、伸びのある高音域は、このピアノが明らかに大規模なコンサートホールのための物であると実証してくれました。そして非常に繊細なベダルもこのピアノの優れた特徴の1つです。

私がカワイピアノを演奏することに喜びを感じたのは、これが初めてではありません。ワルシャワで開催された2005年シヨパン国際ピアノコンクールでも、カワイのピアノを演奏した際に素晴らしい経験ができました。ピアノと演奏者の関係というのは互いに理解があってこそ成立します。その結果、演奏者の期待を満たすのだということ、カワイピアノを弾くたびに確信しています。

仙台国際音楽コンクール3位 **マリアンナ・プルフェバルスカヤ** Marianna Prjevalskaya



1982年ロシアに生まれる。6歳でピアノを弾き始め、10歳までモルドバ共和国のラフマニノフ音楽学校で学ぶ。9歳で、キネフシンフォニーオーケストラと初コンサート。1992年に、スペインに移住し、ラ・コルーニャ音楽大学でピアノを専攻。15歳で、スペインのリナレスで開催されたマリサ・モンティエルピアノコンクールで1位、特別賞を受賞する。1998年には、ペドロ・バリエド・ラ・メツァ財団から奨学金を受けながら、ロンドン王立音楽大学に入学し、イリーナ・ザリツカヤ氏に師事。2003年には、同大学を首席で卒業。大学在籍中も積極的に、スペイン、イギリ

ス、ポーランド、アメリカでリサイタルを行うと共に、1999年にはシヨパン生誕150周年記念リサイタルにも出演。2001年には、ベルリンにある、ヨーロッパピアノフォーラムの会員となり、その次の年には、自身初となるスペイン音楽を集めたCDをレコーディング。その後も、タドリ国際ピアノコンクール1位、チャペル・メダルピアノコンクール1位など、多くの国際コンクールで好成績を収める。現在、イエール音楽学校にて、音楽研究に携わる。

KAWAI NEWS

「カサグランデ国際ピアノコンクール」で
KAWAIグランドピアノを弾いた
萬谷衣里さん、見事最高位入賞!

6月にイタリアで開かれたカサグランデ国際ピアノコンクールにおいて、「SK-EX」を弾いた萬谷衣里さんが見事最高位(1位なしの2位)に輝きました。KAWAIグランドピアノは数々の著名なコンクールで高い評価を受けています。



本選でシヨパンの協奏曲第1番を弾く萬谷衣里さん

「竜洋工場」30周年記念モデル
ALシリーズ誕生

カワイのピアノが生まれる場所、静岡県磐田市の「竜洋工場」。そこは爽やかな風に葉が揺れ、鳥たちがさえずる「森の中の緑の工房」です。工程のすべてに最新の生産設備を導入し、ピアノを知り尽くしたクラフトマンたちが最高の品質精度を追求しています。それと同時に、機械化、コンピュータ化が進んでいる中で、職人たちは本来ピアノとはこうあるべきだという精神と手作業の技術を次世代に継承しています。カワイはこの竜洋工場の誕生30周年を記念し、アニバーサリーモデルを発売。奏でる歓びに満ちた特別なピアノをお届けします。*「竜洋工場30周年記念モデル」は中面をご覧ください。



「音楽はドラマチック」
国際ピアノコンクールはハブニングがいっぱい!

関東技術支部 技術指導担当
日下部 嘉明



海外研修時代、とある国際コンクールでカワイを選んだピアニストがすべて敗退し、これで終わったと思った矢先、あるピアニストの方に「決勝はカワイを弾きたい」と言っていました。しかし、事務局から「ピアノ変更は不可」と通告され、又カ喜びとなってしまいました。

ところが1本の電話で叩き起こされ、会場に向かったところ、関係者の熱意が事務局の考え方を覆し、決勝ステージに上がることとなったのです。

想定外の事態で運搬できず困っていたところ、毎日利用していたカフェの大男たちが「俺たちはカワイを応援してるから!」とピアノを運んでくれたのです。そしてカワイを弾いたピアニストの方が見事優勝。本当に夢のようなドラマチックな経験でした。